

科目名	期別	単位数	開講年次	担当教員名
(新) 手形法・小切手法	前期	2単位	標準2年 既修1年	高松 基助

授業目的	商取引により生ずる代金の支払や融資に利用されている手形、特に約束手形制度、小切手制度の仕組みを資料に基づき概観し、振出・裏書・手形保証などの流通証券特有の理論、具体的には、手形行為独立の原則・善意取得・人的抗弁の切断などについての理論を理解させ、それに関する重要判例を後述する。		
達成目標	手形・小切手に関する基礎的な知識や基本的な理論を理解できることを目標とする。		
授業計画と予習事項	回数	各回タイトル(テキスト範囲)	授業内容(2~3行)、予習基本事項(1~2行、予習文献1~2) 全体各回3~5行程度
	1	手形とは? 手形交換の仕組み 手形・小切手の法的性質	手形の種類、手形による決済、手形交換の仕組み、手形の利用法、 手形・小切手の法的性質
	2	有価証券の特質 手形要件	手形行為の成立、有価証券の特質、手形要件
	3	任意的記載事項	ビデオ鑑賞、任意的記載事項
	4	白地手形 他人による手形行為	白地手形、手形行為の代理・代行、手形に関する会社の利益相反取引
	5	無権代理 偽造	無権代理、偽造
	6	手形行為独立の原則 裏書(権利譲渡)	意思表示の瑕疵、手形行為独立の原則、裏書の種類・効力
	7	特殊な譲渡裏書 特殊な裏書	無担保裏書、裏書禁止裏書、戻裏書、期限後裏書、 取立委任裏書、質入裏書
	8	裏書の連続 善意取得	裏書の連続とその効果、裏書の抹消、被裏書人の抹消 善意取得
	9	手形の支払(権利行使) 手形抗弁	支払呈示、手形交換制度、手形抗弁、人的抗弁の切断、悪意の抗弁

	10	権利濫用の抗弁 振出人の調査義務	人的抗弁の個性、権利濫用の抗弁、融通手形、支払における振出人の調査義務、満期前の支払
	11	手形の書替 支払拒絶 遡求	手形の延期・書替、支払拒絶、銀行取引停止処分、遡求
	12	手形上の権利の消滅時効 利得償還請求権 手形の喪失	手形上の権利の消滅時効、利得償還請求権 手形の喪失、公示催告。除権決定
	13	手形保証 為替手形	手形保証、為替手形の特質、引受呈示、荷為替
	14	小切手	小切手の特質、小切手要件、自己宛小切手
	15	線引小切手	線引小切手
授業方法・ 予習上の留意点(各回指示以外) 自習事項	毎回、次回の教材(プリント)を配布する。		
評価方法と 評価基準 (期末試験、 レポート、 ディベート 等)	定期試験(60%)、レポートないし小テスト(40%)		
テキスト 独自教材	プリント配布		
参考書 (3~5冊)	『最新手形法小切手法(第五訂版)』田辺光政著 中央経済社 『リーガルマインド 手形法・小切手法』弥永真生著 有斐閣 『手形・小切手法』早川徹著 新世社 『手形小切手判例百選(第六版)』有斐閣		